

「世界一住みやすい都市の総領事として」

在メルボルン日本国総領事館のホームページへようこそ。
このたびメルボルンの総領事として着任しました側嶋秀展です。

まず、東日本大震災に対し、在留邦人の皆様を始めオーストラリアの多くの方々からいただいた心温まるお見舞いと多大なご支援に、心から感謝申し上げます。日本は必ず復興し、再び力強く国際社会に貢献することにより、皆様にご恩返しいたします。



当館は、ビクトリア、南オーストラリア、タスマニアの3州を管轄していますが、在留邦人の数は3州合わせて1万6千人を超え、多くの日本企業による活発な活動は地元の経済をも支えており、様々な分野での交流は日本との相互理解と友好関係の発展に貢献しています。日本との姉妹都市交流も盛んで、3州合わせて34の姉妹都市関係が築かれています。また特に、ビクトリア州においては日本語教育が非常に盛んです。

本2011年、メルボルンはある有名刊行物の評価で「世界一住みやすい都市」に返り咲きました。同誌はメルボルン市の生活環境を様々な側面から評価し、総合的にそれを世界一と評価したのですが、私としてそのような地で勤務できることを嬉しく思うとともに、「住みやすい」という意味を考えながら、この地で勤務していきたいと考えています。例えば、日本企業の地元経済への貢献についてはすでに指摘させていただきました。姉妹都市や日本語教育、文化交流なども全般的な生活環境に何らかの影響を与えているでしょう。

総領事館としては、管轄州の政府及び住民の皆様と連携をとりながら、あらゆる分野における日本との良好な関係と交流の促進に努め、また、在留邦人の皆様に対し、適切な行政サービスを提供することにより、「住みやすさ」に貢献していきたいと考えています。このために、私として最善を尽くしたいと考えていますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

在メルボルン日本国総領事
側嶋 秀展（そばしま ひでのぶ）

略 歴

そば しま ひで のぶ
側 嶋 秀 展

昭和 3 1 年生
福岡県出身
既婚、子供 2 人

昭和 5 6 . 3 東京大学法学部卒業
4 外務省入省

その後、在ケニア日本国大使館三等書記官、軍縮会議日本政府代表部一等書記官、内閣内政審議室、外務省の経済協力局無償資金協力課課長補佐、アジア局南西アジア課首席事務官、経済協力局技術協力課首席事務官などを経て海外経済協力基金及び国際協力銀行でインドネシア及びマレーシアへの円借款の担当課長

平成 1 2 . 1 外務省経済局国際エネルギー課長

(この間、平成 1 2 年 1 月から 7 月まで G8 九州沖縄サミット準備事務局長補 (NGO 担当)、平成 1 2 年から 1 4 年にかけてエネルギー憲章会議副議長)

1 4 . 7 外務省国際社会協力部地球環境課長

1 5 . 8 在ジュネーブ国際機関日本政府代表部公使

(その間、平成 1 7 年 1 2 月から平成 1 8 年 7 月まで在サマーワ (イラク) 外務省連絡事務所長兼任)

1 9 . 7 在フィリピン日本国大使館公使

2 0 . 4 兼在マニラ日本国総領事館総領事、平成 2 1 年フィリピン領事団団長

2 2 . 1 外務副報道官、広報文化交流部参事官

2 3 . 8 . 1 5 在メルボルン日本国総領事発令

2 3 . 1 0 . 5 着任